

おおだて

市立総合病院・市立扇田病院

# 病院だより

第18号

おおだて病院だよりは、  
市民・患者さんと  
市立総合病院・市立扇田病院を  
つなぐ広報誌です

2016.4

No.18

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男  
編集：大館市立総合病院 広報委員会  
住所：大館市豊町3-1(総合)  
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)  
電話：0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)  
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>(総合)  
<http://www.oogita-hp.jp>(扇田)



## この春、研修医が大きく羽ばたきます!

総合病院での2年間の研修を修了しました。今後は新たなステージへ進んでいきます。  
研修にご協力いただいた市民の皆様、指導に携わった先生方、ありがとうございました!



市立総合病院  
院長

たて おか ひろし  
館 岡 博

今年度の嬉しい出会いは、研修医8名を新たに迎えたことです。2年目の研修医を含めると12名が当院で研鑽することになります。

そもそも研修医制度は平成16年より制度化されたもので、以前は必修化されておらず、多くは医学部卒業と同時に自分が志望する科の医局(大学)に入り、鬼軍曹?の下に医師としての教育がなされて来ました。しかし、それでは臨床能力(患者さんを診る力)が均質化されないということで、2年間で医師としての基本的臨床能力が達成できるように義務化されたものです。研修病院として指定されるには種々の要件があり、定員数も指定されます。当院は平成17年10月に定員5名の指定を受けてスタートしました。現在は1年につき8名が定員ですが、当初は1〜2名の志望しがなく、正直に言うとも志望者0の年もあり、定員削減をされたこともありました。今年度の研修医の多さは、まさに隔世の感があり、これも職員のみならず地域の皆様の臨床研修へのご協力から来ているものと考えています。いまだ当地域は医師不足ですが、研修医達が大きく育ち、いずれ大館の医療を支える存在になるよう、地域全体で支えていただければありがたいと思っています。



市立扇田病院  
院長

おお もと なお き  
大 本 直 樹

暖かく小雪だった冬が終わりを告げ、希望あふれる春がやってきました。日本では企業も学校も4月1日から翌年の3月31日を年度(会計年度、学校年度)の区切りとしていますが、これは万国共通のものではありません。ドイツの会計年度は暦と同じ1月(学校年度は9月)、アメリカは10月(学校年度は9月)、お隣の韓国は1月(学校年度は3月)が始まりで、国によって様々です。しかし日本人にとっては国を代表する花である「桜」が開花する4月が、新年度を迎えるのにふさわしい気がいたします。(余談ですが)日本を代表する花は国民に親しまれている「桜」か皇室の家紋の象徴である「菊」でしょうが、法律上で国花は制定されていません。

さて新年度ですが、地域医療を献身的に支えてくださった金大悟先生と渡邊明美先生が異動となり、村上力也先生が赴任いたしました。先生は自治医大を卒業後3年目と若いですが、とてもバイタリティに富んだ好青年です。体は大きくて一見怖そうに見えますが、実はとても優しい先生です。地域で皆さんと共に歩んでいくことを楽しくお願いたします。

# 紹介 します

## ME室



MEとはMedical Engineering (医用工学)の略で、ME室は医療機器を管理する部門となります。スタッフは医師である室長の下、臨床工学技士4名が所属しており、主に医療機器の操作や保守点検を行っています。

実際の業務内容としては、機器の定期点検や日常点検(使用前・使用中・使用后)、修理や調整、清掃、保管、在庫管理、運転操作、患者さんへの接続に至るまで広範囲となります。

一言で医療機器といっても、患者さんの呼吸を代行する人工呼吸器、また腎臓機能を代行する人工透析装置など、生命の維持に必要な不可欠な装置から、点滴に使う輸液ポンプや血圧や心臓の動きを観察する生体情報モニターなど入院したことがあれば一度は使用したことのあるような身近な機器まで多種多様です。

これらの機器が、いつでも、迅速かつ的確に使用され、安全で高度な医療が提供できるよう、「縁の下の力持ち」として患者さんの安心と満足が得られる医療の展開に貢献していきたいと思っております。

# 地域包括ケア病棟を導入しました

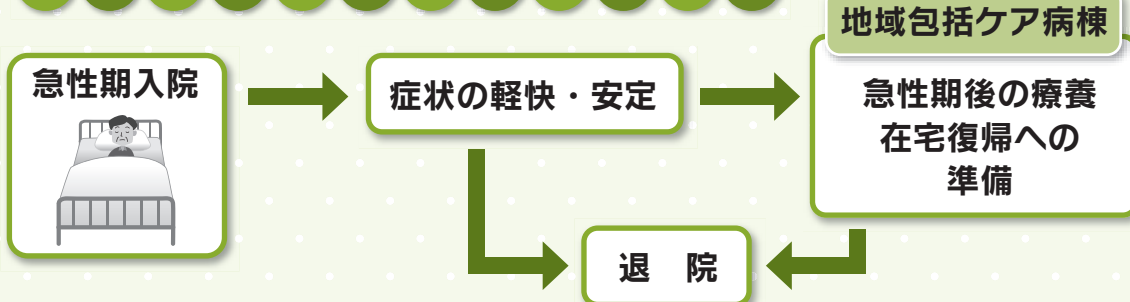
総合病院では、4月より10病棟に「地域包括ケア病棟」を導入しました。当院のような急性期医療を主に担う病院では、症状の軽快・安定後は患者さんに退院していただくこととなりますが、近年では高齢化の進行により、手術などの急性期治療を終えたあとも退院が困難なケースが増加しています。このような状況に対応するため、自宅への退院に向けた療養と準備をしていただく病棟として導入を決定しました。

なお、地域包括ケア病棟へ転棟する際は、事前に主治医から患者さんとご家族に説明させていただきます。転棟により、療養環境の変化などご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、患者さんの病状に合わせた適切な医療の提供を行ってまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。

## 地域包括ケア病棟とは

急性期治療を終え症状が軽快・安定した患者さんが、経過観察やリハビリが必要な場合に在宅への復帰を目指し60日を限度として退院準備のための療養を行う病棟です。治療やリハビリのほか、医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師などによる退院に向けたサポートを受けられます。

### 地域包括ケア病棟イメージ



お薬のいろんな疑問にお答えします。



### 「一般用医薬品」という言葉を聞いたことがありますか？

「一般用医薬品」とは、薬局等で医師の処方せんなしに購入できる医薬品です。市販薬、大衆薬、OTC医薬品などとも呼ばれています。OTCは“Over The Counter”の略称で、薬局のレジのカウンター越しに購入できる医薬品という意味です。

一方、「医療用医薬品」とは、病院等で医師の診断後に発行される処方せんをもとに薬剤師が調剤してから受け取る医薬品です。

一般用医薬品は購入者の判断による使用を前提として、成分や用量の安全性を重視したつくりになっています。また、長い期間医療用医薬品として使用され安全性が確認された医薬品の中には、一般用医薬品として販売が許可されることがあります。そのような医薬品は、医療用から一般用にスイッチする（＝切り替える）ということから「スイッチOTC薬」と呼ばれています。

飲み合わせに注意が必要、あるいは成分や効果が重複するということもありますので、医療用医薬品を服用中に一般用医薬品を使用したい、またはその反対の場合でも必ず医師や薬剤師に相談するようにしましょう。



## カンサーボードへの取り組みについて

カンサーボードは、“手術、放射線診断、放射線治療、化学療法、病理診断及び緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等による、がん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンス（会議）”と定義され、当院では月1回以上を目安として開催しています。今年度は肝臓がん、肺がんなど様々ながん種について開催され、医師のみでなく様々な職種による活発な議論が行われています。

当院は、全国のがん医療の標準化を目的として整備されている、地域がん診療連携拠点病院に指定されています。手術、化学療法、放射線治療などを組み合わせた治療や、緩和ケアを提供することなど様々な要件が定められ、カンサーボードを開催することも要件の一つになっています。

総合病院では、がんの治療や、療養生活の相談に対応する窓口として相談支援センターを設置しているほか、患者さんやそのご家族で構成された患者会の開催場所を提供するなど、がん患者さんへの支援体制を整備しています。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。



### 検査のはなし

## 終夜睡眠ポリグラフ (PSG) 検査

「春眠暁を覚えず」という言葉があります。春の眠りは夜明けに気付かないほど心地よく、鳥のさえずりが聞こえ——。さて、鳥のさえずりも聞こえない程の大きなイビキをかく、あるいはイビキが途中で止まっている、などの症状が当てはまるかたは、もしかしたら睡眠時無呼吸症候群（SAS）かもしれません。

SASをはじめとする睡眠障害の精密検査として、終夜睡眠ポリグラフ（PSG）検査があり、当院では耳鼻咽喉科で実施しています。PSG検査は、寝ている間の呼吸・脳波・胸の動きなど、様々な項目を記録・解析し、睡眠障害の原因を調べる検査です。夕方に入院して、寝ている間に検査をし、翌朝には退院できるため、日中お仕事をされていても検査を受けることができます。

SASに心当たりがあるかたは一度調べてみてはいかがでしょうか。



## 「患者さんの声」より

当院に寄せられたご意見を紹介していきます。

### 会計時の呼び出しについて

会計時に名前を呼ぶ際に、早口すぎて聞き取りにくいです。もっとゆっくり、繰り返し名前を呼ぶなどして欲しいです。(昨年11月に投函されたかたのご意見)

#### 病院から

ご意見ありがとうございます。会計時にお名前をお呼びする際、一度目で窓口にいらない場合は、再度お名前をお呼びしています。今後は、お名前をゆっくりはっきりとお呼びするよう心がけてまいります。なお、15分以上お待ちのかたは、お近くのスタッフへお声をかけていただくようお願いします。

### 無事に子供を授かりました

先日おかげさまで無事に元気な子を授かりました。朝も夜も苦しむ妻を、助産師のかたを始め産婦人科の皆様に対応していただき、本当に感謝しています。

これからは、家族一丸となってこの子を元気に、そして大切に育てていきたいと思えます。

(昨年11月に投函されたかたのご意見)

#### 病院から

このたびは、お子さんのお誕生おめでとうございます。そして、当院スタッフへあたたかいお言葉をいただきありがとうございます。今回無事に出産を迎えられたのは、奥様の頑張りとそれを支えたご主人のお力があってこそだと思います。

当院は、これからも妊産婦一人一人が素晴らしい出産を迎えられるよう、地域の産婦人科医療を担うためスタッフ一同研鑽してまいります。

お子さんの健やかな成長と、ご家族の健康をお祈りしております。

## 患者サービス委員会後援

### 奇術の日 マジックショーを開催しました

昨年12月3日に、明日実病院の伊藤実喜<sup>みよし</sup>院長によるマジックショーを開催しました。伊藤院長は「笑い」による免疫力アップなどに着目し、マジックを通じて患者さんを笑顔にすることを目的として様々な場所でマジックを披露されています。

当日は外来・病棟の患者さんや来院者など約50名が会場のギャラリーで観覧し、しばしば歓声があき起こるなど伊藤院長のエネルギッシュなステージを楽しみました。



# 扇田病院です!

## +

### 外来診療室

## +

当院外来診療室は、平成24年より内科と外科を統合した診療となり、専門分野にとらわれず、急性期から慢性期、病院から在宅まで切れ目のない医療提供に努めています。

『地域の皆様の「心の支えとなる病院」を目指します』という病院理念の下、地域社会により密着した医療サービスを提供する病院として以下のような取り組みを行っています。

一つは、在宅で療養している人への訪問診療と訪問看護です。患者さんやご家族の皆さんが安心して、住み慣れた自宅で療養生活を継続できるようにお手伝いしています。

もう一つは夕やけ診療です。仕事や学校の都合で、日中受診ができない患者さんの利便性を考えて取り組んでいます。新患も受付していますのでご利用下さい。



また、休診していた眼科外来を昨年7月より再開しています。第1・第3土曜日に診療していますので、ぜひご利用下さい。

当院外来は、急性期から慢性期まで幅広くサポートし、患者さんのニーズに対応できる体制を整えています。より身近で、相談しやすく安心できる病院を目指して、スタッフ一丸となって笑顔で質の高いサービスを提供できるように日々頑張っています。

## 売店がリニューアルオープンします

当院の売店が4月4日からリニューアルオープンします。病院内売店に求められる要素をしっかりと理解して、患者さんはじめ地域の皆さんに必要なサービスを的確にご提供してまいりますので、ぜひご利用ください。リニューアルオープンに伴い、営業時間などが下記のとおり変更となりますのでご注意ください。

営業時間：午前9時～午後5時  
 定休日：土日祝日、年末年始  
 取扱商品：入院生活に必要な衛生材料  
 一般的なコンビニ商品  
 地元産各種弁当、おにぎり、  
 サンドイッチ等



画像はイメージです

**臨時休業**

リニューアルオープン準備のため売店の臨時休業日を設けています。売店を利用される皆さんにはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

臨時休業日：4月1日(金)

# 外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

～総合病院～

<b>受付時間</b>	<b>初診</b> 午前 8:30～11:00	<b>再来</b> 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考	
呼吸器・循環器内科	新患	9:30まで	呼吸器 休診 循環器 新患 9:30まで 再来 11:00まで	呼吸器 新患 9:30まで 再来 11:00まで 循環器 休診	呼吸器 休診 循環器 新患 休診 再来 11:00まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。	
	再来							
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。	
内分泌・代謝 神経内科	新患	10:30まで	甲状腺 10:30まで	10:30まで	甲状腺 10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。 神経内科は原則として再来予約のみの受付となります。(午後診療)※1	
	再来		甲状腺 診療					
小児科								
神経精神科	新患	休診						他院の通院歴がある場合は紹介状が必要です。
	再来							
外科								
呼吸器外科	新患	予約のみ	10:00受付	予約のみ	予約のみ	10:00受付		
	再来							
産婦人科								
眼科	新患	9:30まで	9:30まで	9:30まで	休診	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。	
	再来				9:30まで			
耳鼻咽喉科								
整形外科		10:00まで(火曜日は再来のみ)						新患は原則として紹介状が必要です。 専門外来は予約制。
泌尿器科		予約のみ						新患は原則として紹介状が必要です。
皮膚科				休診	再来予約のみ		木は再来予約のみの受付となります。	
脳神経外科	新患	10:30まで						新患は原則として紹介状が必要です。
	再来							
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。	
歯科口腔外科・ 矯正歯科							再来は予約制。	

上記の表は3月中旬の情報をもとに作成していますが、診療体制の変更に伴い受付時間などが変更となる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、変更があった場合はホームページへ掲載いたしますのでそちらをご覧ください。

◎新患はできるだけ紹介状(診療情報提供書)の持参をお願いしています。

◎この表における紹介状とは、医療機関から発行される診療情報提供書のことを指します。

◎新患の患者さんで紹介状を持参されない場合、初診時の保険外併用療養費として、1,620円を負担していただいておりますのでご了承ください。

※1 神経内科の新患は原則受付しておりませんが、受診希望のかたは地域連携室までご相談ください。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科・外科	午前	8:30～11:00						
	午後	急患のみ						
	夕やけ(午後)	5:00～6:30	休診	5:00～6:30	休診	5:00～6:30		
整形外科	午前	休診	休診	休診	休診	8:30～11:00		
耳鼻咽喉科	午後	1:30～3:00	休診	休診	休診	休診		
眼科		午前10:00～12:00, 午後1:00～2:00 ※原則第1, 第3土曜日						詳細は扇田病院ホームページまたは電話でご確認ください

## 総合病院からのお知らせ

### ● 神経精神科からのお知らせ

現在神経精神科では、診療体制の変更により、緊急時を除き外来の新患の受付を行っていません。ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

### ● 呼吸器・循環器内科からのお知らせ

4月1日より、呼吸器内科の外来診療日は、月・水・金曜日となります。詳しくは上記の表をご覧ください。ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。なお、循環器内科の受付日などについて変更はありません。

### ● 看護補助者を募集しています

総合病院では、病棟の看護業務を補助するかたを募集しています。詳しくは総合病院総務課までお問合せください。

☎ 総合病院総務課  
☎0186-42-5370

## 離島診療所の見学を行いました

平成28年度より、臨床研修プログラムに八重山病院附属診療所での離島研修が追加されることに伴い、2月22～23日に当院研修医による診療所の見学を行いました。大原診療所の山腰（やまこし）先生、西表西部診療所の幸喜（こうき）先生から、離島における総合診療や、へき地医療への取り組みについて学びました。観光地でもある八重山諸島での診療の特徴として、診療科を問わない広範囲にわたる疾患についての知識が要求されます。また、患者さんの背景を理解したうえで生活に密着した医療を提供することも要求されるため、研修医にとって基本的な診療の技術を学ぶ環境として、非常に適しています。

4月から8名の臨床研修医が新たに赴任していますが、より充実した環境で研修を行えるよう、プログラムや設備の改善を行い、臨床研修病院としての機能向上を図っていきます。



## 医療安全研修会を開催しました

当院では職種別の勉強会のほかに、全職員を対象とした「医療安全研修会」を平成15年から毎年2回ずつ開催し、職場の安全文化向上を目指しています。

27年度下半期の研修会は1月29日、2月9日の2回に分けて行われ、テーマは「自部署で取り組んだ医療安全と評価」でした。

この研修会は、コミュニケーション技術の向上でミスを防ぐ方法や、危険な機器や薬剤関連の事故防止策などについて、全ての部署がそれぞれユニークな視点から工夫実行し、その成果を発表し合うものです。このテーマでの開催は今回で5回目ですが、回を増すごとに日頃からの医療安全への意識の高まりへとつながっています。

今後も研修会を継続し、皆さんに安全な医療を提供できるよう努力を積み上げていきます。



### 編集後記

長かった冬が終わり、暖かい春が近づいてきました。皆さんインフルエンザなどにかからず、無事に過ごされたでしょうか？

さて、今年3月で研修医が無事研修を修了され、旅立つこととなりました。病院だより第18号の表紙は、研修医とその教育に関わった主なスタッフの写真になっています。写真中央の女性が研修医の田中先生、そして左から小児科の丹代先生、内分泌代謝神経内科の池島先生、消化器血液腫瘍内科の山居先生、脳神経外科の大久保先生、そして総務課の佐藤さんになります。一人の研修医を育てるのにこれだけたくさんの職員が関わっており、当院が研修医を大切にしていることがよくわかります。そして、今春からは、1年目の研修医が8名、2年目の研修医が4名の計12名になるようです。若い力がみなぎり、当院が更なる躍進を遂げることを期待します。

最後に、私事ですが、病院異動に伴い編集委員長を交代することになりました。病院だよりの編集に携わり、医師だけではなく、様々な職種のかたがたの力があって、病院が成り立っているということを改めて実感することができました。2年という短い任期ではありましたが、お付き合いいただきありがとうございました。

（編集委員長 田辺 壽太郎）